



通巻 No.226 2022年5月29日

# 教会報ほんじょ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2 TEL: 03-3623-6753 FAX: 03-5610-1732  
http://www.catholic-honjyo-church.org

## INDEX

- ☐ 「神の召されたことを」  
主任司祭 パウロ 豊島 治
- ☐ パウロ三木 稲川圭三師  
東京カトリック神学院院長に
- ☐ お知らせ
- ☐ その他



### 「神の召されたことを」



主任司祭 パウロ 豊島 治

本所教会として名誉と思う知らせが届きました。  
大司教様のブログ「司教の日記」5月8日におきまして、本所教会出身の稲川圭三神父様が、東京カトリック神学院の院長となられた、という内容です。

東京都練馬区関町にある神学校は1929年に東京公教大神学校（聖フランシスコ・ザベリオ神学校）として確立されたのち1948年に認可、東京カトリック神学院と呼ばれます。

1970年に札幌教区の田村神父様が院長になられた頃から教区の運営となります。

2009年にサン・スルピス神学院と統合され日本カトリック神学院と名を変え福岡との二拠点システムを開始し、2019年には新たな東京カトリック神学院となるのです。

一報があつてから圭三神父様は設立以来何代目の院長かとお質問をいただくのですがこのような変遷がありますので答えられないでいます。2019年の体制になってからは2代目であります。

現在の東京カトリック神学院は九州地区を除く教区司祭養成と修道会司祭の知的養成の場となつています。修道会には以前知的養成の場としてアントニオ神学院がありましたが現在は閉校していますので、上智大学・大学院との二か所場であります。

近年、新しい司祭養成課程が示され、司祭となる道は長くなりました。「予科」が新設され、養成課程が最低6年から7年半となりました。現在東京神学校はその予科生の共同生活の場のために神学校敷地内に新しい校舎を建設する準備をしています。上智大学へ通う神学生にとっては近年大学院の課程も必要となり、学費の負担がかかります。

教区・修道会神学生を支援する「一粒会」があります。（あまり知られていないようですが）一粒会の会員は東京教区の信徒全員。祈りと献金で支援します。献金も大切ですが祈りも常にお願ひします。私の今までの経験上司祭になりたいという若者は減っているという実感はあまりありません。司祭になりたいという若

者と面談は何度もしてきました。しかし、この長い養成課程が必要であること、司祭志願者が入学試験を受ける識別においても時間をかけることから諦めるケースもあります。ですから入学志願者も判断者もこのプロセスは厳しいです。司祭に対しての教会法典が改定されました。今後の司祭のあり方に影響するでしょう。



6月はみ心の月です。今年は6月19日がキリストの聖体、24日がイエスのみ心の祭日です。この流れからもあるように、24日は「世界司祭の聖化のための祈願日」です。6月も一生懸命な祈りをよろしくお願ひします。